

公民館かながわ



目次

平成28年度 生涯学習指導者研修 「公民館担当者コース」	2・3
平成28年度 館長・公民館 運営審議会委員等研修会	4
平成28年度 神奈川県公民館連絡協議会 表彰式	5
サークル紹介 『岡上オカリナくらぶ』 『原色現代押し花絵クラブ』 (川崎市) (箱根町)	6
大和市文化創造拠点 「シリウス」	7
平成29年度 「公民館実態調査」	8
平成29年度総会	8
編集後記	8

平成28年度
生涯学習指導者研修
「公民館担当者コース」
事業報告

平成28年度生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」が、5月25日から11月18日までの間、計6回にわたり、「生涯学習・社会教育の地域拠点としての公民館のあり方と職員の能力の向上」をテーマに開催されました。

この研修は、県教育委員会と県公連との共催事業です。

今年度は、「第38回全国公民館研究集会神奈川大会・第57回関東甲信越静公民館研究大会 in さがみはら」が8月に開催されたこともあり、昨年度より1回少ない実施となりました。また、第2回A・Dでは、同大会で発表予定の内容で事例発表を行いました。

昨年度に引き続き、各教育事務所社会教育主事によるアイスブレイキングの講義と参加者交流を行い、実際に活動を体験することで、アイスブレイキングの手法を学ぶとともに、参加者同士が打ち解けて、その後の事例発表や情報交換が、和やかな雰囲気の中で、より活発なものになりました。

延べ214人の参加があり、どの回も、意欲的に話し合いに臨んでいる姿が見られました。

《第1回 基礎編》

5月25日(水)

会場 神奈川県立図書館

- 講義と意見交換「社会教育・生涯学習の基礎理解と担当職員の役割について」

青山学院大学教授

鈴木 眞理氏

- 情報提供「神奈川県公民館連絡協議会について」

県教育局生涯学習課主査兼社会教育主事(県公連事務局)

藤沖 亮氏

- 情報提供「『PLANET かながわ』の紹介と活用について」

県立図書館生涯学習サポート課主事

関根 翔氏

- 講義とワーク「インクルーシブ社会の形成と社会教育の役割」

元帝京科学大学教授

滝坂 信一氏

《第2回 実務編》

A 6月2日(木)

会場 藤沢市立明治公民館

- 講義と参加者交流「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」

湘南三浦教育事務所社会教育主事兼指導主事

河野 光志氏

- 事例発表「公民館職員の資質の向上をめざして」社会教育主事による取り組み

茅ヶ崎市立香川公民館担当課長兼館長

白鳥 慶記氏

- 事例発表「地域に根ざした公民館改革について」

相模原市立清新公民館館長代理

遠藤 誠氏

- 情報交換「今年度の一押し担当事業について等」



B 6月15日(水)

会場 川崎市麻生市民館

- 講義と参加者交流「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」

県西教育事務所社会教育主事兼指導主事

加藤 佳代氏

- 事例発表「親が育ち学び合う地域づくり」学びの事業からつながる地域の輪」

平塚市立金目公民館主査兼社会教育主事

嶋崎 和栄氏

- 事例発表「若い力と共に子どもたちの健やかな成長を願って」学生サークルとともに育む青少年部事業」

相模原市立麻溝公民館青少年部副部長

中島 純子氏

- 情報交換「貸し館の基準について等」

青少年指導員

座間 豊氏

C 6月30日(木)

会場 相模原市立橋本公民館

- 講義と参加者交流「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」

県央教育事務所社会教育主事兼指導主事

窪田 晃子氏

- 事例発表「愛甲公民館発・地域再発見」地域住民の融和に向けての取組みを通じて」

厚木市立愛甲公民館館長

石井 克彦氏

- 事例発表「多様性社会の実現に向けた人権学習の果たす役割」

川崎市教育委員会学校教育部指導課(前川崎市教育文化会館社会教育主事)

齋藤 遼平氏

- 情報交換「クレーム対応について等」

齋藤 遼平氏

- 講義と参加者交流「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」

中教育事務所社会教育主事兼指導主事

永野 文氏

- 事例発表「地域で育む文化の絆」文化の担い手を育むために」

大井町教育委員会生涯学習課副主幹兼社会教育主事

遠藤 友樹氏

- 事例発表「主体的継続的学習こそが企業人を地域の担い手に！」公民館と受講生の会がともに創るあすなる大学」

遠藤 友樹氏

座間市立東地区文化センター
社会教育指導員 安藤咲枝氏
○情報交換「主催事業の講師・見学者等の情報について等」

《第3回 実践編》

11月18日(金)

会場 神奈川県立図書館

○人権講話「子どもの貧困と貧困の連鎖を防ぐために」

NHK大阪放送局報道部報道番組ディレクター

新井直之氏
○事例発表「公民館のフリースペースから見えること」

座間市立北地区文化センター
座間の不登校を語る会代表

阿部敏明氏
○講義とワークショップ「学習課題を考える」地域の課題にどう迫るか」

RE Learning 代表
秦野玲子氏



〈研修後のアンケートより〉

講義と意見交換「社会教育・生涯学習の基礎理解と担当職員の役割について」

「社会教育の推進に当たり、職員として求められることについて理解が深まった。」「社会教育と生涯学習の違いがはつきりと分かかって勉強になった。」「生涯学習の一環として社会教育がある、ということとをあらためて学ぶことができた。行政として何をすべきか、きちんと考え、自覚をもって仕事に取り組んでいきたいと思った。」「

情報提供「神奈川県公民館連絡協議会について」

「県公連についての理解が深まった。」「加盟市町村が少なくなっているのを初めて知った。」「公民館の抱える問題は、各市がそれぞれで解決すべきだと考えがちになるが、他市との情報交換を通じて共通課題も連携して解決することが大事なのだと知った。」「

情報提供「『PLANET かながわ』の紹介と活用について」

「存在を知らなかったもので、これからどう使っていこうか考えた。」「初めて知った。担当者としてはもとより、一人の学習者としても、もっとよく見てみたい。」「システムで提供している様々な情報をもっと活用して、社会教育に役立てていきたいと感じた。」「

講義とワーク「インクルーシブ社会の形成と社会教育の役割」

「社会全体でインクルーシブ社会を道標として取り組んでいくことの大切さを学んだ。」「これから始める事業の中で、『多様性』の存在を意識しなくてはならない事を気づかされた。」「生涯学習にたずさわっている私達にしかできないことがあるという先生の力強い言葉がとても印象に残った。あたり前でないと考えた方がいいことがあるということをお願いしたい。」「

講義と参加者交流「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」

「アイスブレイキングをしたのが初めてだったので、参考になった。この時間があることで、和やかな雰囲気になることを身をもって感じた。」「実際に参加してみて、同じ班の方と気持ちよく話せるようになった。今後、自分が開催する会議等に活用していきたい。」「

人権講話「子どもの貧困と貧困の連鎖を防ぐために」

「現場の課題など、生の声を聞くことはなかなかないことなので、貴重な話を聞くことができ、とても役に立った。」「子どもの貧困について、様々な原因があり、可視化が困難であるということ、経済的困窮に留まらないということを知ることができ、良かった。公民館職員として、自分にできることは何か、というところから考えて

いきたい。」「

講義とワークショップ「学習課題を考える」地域の課題にどう迫るか」

「実践的な体験ワークで楽しかった。事業企画のステップの大切さを実感した。先生のちよつとした声かけで、気づきも感じられた。」「グループで実際に事業企画をしてみて、一人で考えるよりも様々な視点で計画する方が、よりよいものができると感じた。」「事業予算など、問題もあるが、地域での課題をよりよくとらえて、公民館事業として、どのようにつなげていくかを改めて考えさせられた。」「

各館の事例発表

「本市と比較するいい機会となった。」「地域によって、事業を作り上げる方法が違うことが知れて良かった。」「自市とは大きく異なる公民館運営の話をしきることができたので、公民館のあり方を見直すきっかけになった。」「

情報交換

「他館の話がたくさん聞けて良かった。」「他市の地域性を生かした事業を聞けてとても良かった。」「他館の情報や工夫がみられて、勉強になった。これからの事業に生かしていきたい。」「情報交換ができて良かったが、町村の参加が少ない点が気になる。同規模の自治体での交流が良かった。」「

(県公連経営・研修部会)

平成28年度 館長・公民館運営審議会委員等研修会
 「なぜ公民館が必要とされているのか？」
 ～住民の学びを支え、地域づくりに貢献する
 公民館の役割を考える～

平成28年度館長・公民館運営審議会委員等研修会が、11月27日(金)に、横須賀市立本町コミュニティセンターで開催されました。

今年度の人権講話では、神奈川県における人権教育の推進方策に沿って、社会的課題となっている、子どもの貧困や生活環境について講話をお願いしました。

講演会では、青少年を中心にした地域づくりが、大きな社会的な課題の解決の糸口になることを学びました。参加者は133名。

「人権講話」

「子どもの人権」

「さまざまな視点から」

神奈川県教育委員会教育局行政部

行政課人権教育グループ

グループリーダー兼指導主事

松岡 由紀氏

平成25年に示された、神奈川県人権施策推進指針とおした県の人権への取り組みで、特に児童虐待の未然防止、いじめ対策の推進、不登校・引きこもりなどへの対応の状況などをお話いただきました。

子どもの貧困化は、成熟社会と呼ばれる現代でも、その国の平均世帯所得の中央値を下回る困窮状況を、相対的貧困と呼び、課題視されていること、また、現在日本の子どもの6人に1人が該当しているとのことでした。



その問題の特徴として、低い進学率、長期欠席、家庭の生活保護世帯化などの状況が見られ、豊かさを享受できない現実が、格差と差別として表れていることを知ることができました。

障害者の人権にも触れられ、「津久井やまゆり園事件」に象徴される差別と偏見に対抗して、正しい知識を持つことが重要だと結ばれました。

「講演」

「子ども・若者が主役のまちづくり」

～地域学校連携協働と

公民館の役割～

東京大学大学院教育学研究科

教授 牧野 篤氏

はじめに、ネガティブにとらえられている現代の社会状況について、現実を正しくとらえようと、人口減少と長寿は、不幸なことではなく、世界的には、成熟した人間社会の有り様として、1つの目標ではないかと提起されました。

これからの地域、自治体のキーワードは、「ソーシャル(社会的)」であること。地域コミュニティもそこで「価値的な豊かさ」を求める生活の場にする必要がある。そのとき、「公民館」の設立当時、社会教育、社交娯楽、自治振興、青年養成を総合して成立する地域の中核機関と位置づけられてきたことが意味を持つはずだとのお話は、納得のいくものでした。

そのような地域コミュニティでは、学校が地域づくりの拠点になること、同時に子どもや若者が、地域を学ぶことで、子ども、若者の居場所

所が世代を超えた地域住民の居場所にもなることを、長野県飯田市の事例をお話して知ることができました。その過程では、関わる大人が、その「場づくり」をおして、地域での人間関係の信用の輪を広げています。その「公民館的なもの」が自治意識を育てているエネルギーだと感じました。



住民が地域の「社会」を作ること、行政で補いきれない社会保障を厚くすることに結びつくということ。そこで、「長寿は幸せなこと」と思える人々の豊かな人間関係を、公民館には生み出す機能があるのではとの言葉に力を得たお話でした。

(文責 経営・研修部会)

平成28年度神奈川県公民館連絡協議会表彰式

平成28年度神奈川県公民館連絡協議会表彰式が、1月27日(金)に横須賀市本町コミュニティセンターで開催されました。

「神奈川県公民館連絡協議会表彰」は、「公民館事業活動の振興に貢献した公民館並びに神奈川県公民館連絡協議会の事業運営の円滑化に功績のあった職員等を表彰すること」を目的に、昭和34年に端を発し、半世紀以上にわたって続いている表彰です。

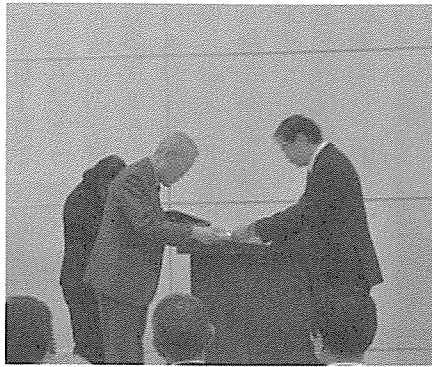
表彰には3種類あります。
1つ目は、「優良公民館表彰」です。対象は、「表彰日の属する年の4月1日現在において施設の供用開始から5年が経過しており、他の模範となるような優れた公民館運営と事業活動を展開している公民館」で、「過去にこの表彰を受けた場合は、表彰後5か年を経過した館」となっています。

2つ目は、「職員等功績表彰」です。対象は、「協議会の会長、副会長及び常任理事会理事の職を通算しておおむね3年以上勤め、かつ顕著な功績があった方」。

または、「全国、関東ブロック及び神奈川県公民館大会において

研究、事例発表を行ない、公民館活動の振興に寄与したと認められる方」。

または、「公民館活動に対する功績が特に顕著で、優良職員であると認められた方」となっています。
3つ目は、「永年勤続表彰」です。対象は、「常勤または非常勤の職員で、在職年数が通算して10年以上の方」です。また、「退職した職員等についての表彰は、その職を退いた後1年までとする」となっています。



今年度の表彰式は、同日開催の研修会に先立ち、130名余りの研修会参加者の温かい雰囲気の中、行われました。

今年度は、5館と15名の方が表

彰を受けられました。被表彰館及び被表彰者については、次のとおりです。

○神奈川県公民館連絡協議会表彰

【優良公民館表彰】

- 川崎市教育文化会館田島分館
- 相模原市立相武台公民館
- 平塚市立土屋公民館
- 厚木市立睦合南公民館
- 厚木市立依知北公民館



【職員等功績表彰】

- 中村洋子 (相模原市立大野南公民館)
- 遠藤 誠 (相模原市立清新公民館)
- 柳川久子 (平塚市立金目公民館)
- 嶋崎和栄 (平塚市立金目公民館)
- 【永年勤続表彰】
- 田中勝彦 (川崎市多摩市民館)



佐藤裕美子 (相模原市立大野南公民館)

松田好恵 (相模原市立上鶴間公民館)

徳永玲子 (相模原市立光が丘公民館)

埜 雄太 (相模原市教育委員会生涯学習課)

梅野 拓 (相模原市市民税課(二元清新公民館))

江成俊明 (相模原市立大野南公民館)

竹内眞理 (相模原市総合学習センター「元大野中公民館」)

白石卓之 (相模原市立田名公民館)

岡倉素子 (公財) 横須賀市生涯学習財団)

藤原雅仁 (公財) 横須賀市生涯学習財団)

サークル紹介

『岡上オカリナくらぶ』

川崎市麻生市民館
岡上分館

「岡上オカリナくらぶ」は、2012年（平成24年）11月から、岡上分館を中心に活動している市民自主活動サークルです。

2012年7月～9月に岡上分館で、市民自主事業として「土笛（オカリナ）の講座」が開かれ、その後、講座参加者による自主活動サークルが誕生しました。

指導者は、講座でお世話になった小棚木恵美子先生にお願いし、毎回和気あいあいと楽しい練習を続けています。

現在の会員数は17名で、過半数がシニアの初心者ですが、多くの初心者だった人も、何回か人前で演奏するうちに度胸がついてきて、今では立派に演奏を楽しんでいます。

主な活動履歴は次の通りです。
○2016年2月6日

「カフェコンサート」出演

（岡上分館）

岡上分館で行われた市民自主事業「カフェコンサート」に出演しました。

○2016年3月12日

「Sound&Vision2016」出演

（麻生市民館大ホール）

毎年参加している本格的なホールでのイベントです。

○2016年10月29日

「カフェコンサート」出演

（岡上分館）

○2016年11月12日

「楽芸会」出演

（市民交流館やまゆり）

毎年参加している地域イベントです。

そのほか、毎年色々なイベントに参加しています。



興味のある方は、お気軽に見学においでください。入会はいつでも可能です。

（代表 小林俊夫）

『原色現代押し花絵クラブ』 箱根町社会教育センター

私たち「原色現代押し花絵クラブ」は、平成6年に箱根町が開催した押し花絵講座をきっかけに、受講者だった会員が自主的に押し花絵を学ぶサークルとして発足しました。現在、箱根町社会教育センターの工芸工作室をお借りし、毎月2回活動しています。

毎年6月、箱根町社会教育センターにて各種定期利用団体が共同し自主的に開催している「明星展」へ出品し、日ごろの活動の成果を発表しているほか、明星展の当日は、1日教室として会場を訪れた方々に押し花絵作りの楽しみをPRしています。

また、小田原市や近隣市町など、他の会場も借用し、作品展示も行っています。その他、町内の幼稚園の依頼により、出前教室も行っています。完成した作品を、その子が小学生になった今でも大切に使用してくれていると聞き、大変うれしく感じました。

サークル名の「原色現代押し花絵」は、花本来の持つ色「原色」をいつまでも保つ特別な技法を用いた「現代」的な手法による「押し花絵」を意味しています。通常

の押し花は時間が経つにつれ、花の色がどうしても薄くなってしまうのですが、特別な技法を用いることにより、花本来の色があせにくいので、押し花絵を額に入れ、長年鑑賞することができます。



現在、箱根町在住の方を中心に、近隣の市町の方も参加し、9名で活動しております。住所要件など特にありませんので、興味のある方は、是非、箱根町社会教育センター（電話0460-82-2694）までお問い合わせください。

（磯崎 啓子）

大和市文化創造拠点「シリウス」オープン!

相模鉄道本線と小田急江ノ島線が交差する大和駅周辺は大和市の中心部にあたります。しかし、駅東側地区は、駅近で好立地であるものの、店舗の閉鎖、低・未利用地や老朽化した建物が目立ち、中心市街地としてふさわしい土地利用がなされていないため、魅力ある街づくりが望まれる地区でした。そこで、

地元では、魅力ある街づくりを目指し、再開発準備組合を立ち上げました。当初は、住宅や商業施設を組み入れる計画でしたが、平成20年頃からの工事費の高騰や不動産不況などの経済事情により、再開発事業が立ち行かなくなり、計画の変更が余儀なくされました。

市では、公共施設（ホール、図書館、学習センター、屋内子ども広場など）を駅至近に複合整備することで、市民の利便性を向上させるだけでなく、高齢社会に対応した街づくりを進めたい意向がありました。

そこで、これらを再開発事業に組み入れるため計画変更について地元と調整を行い、平成26年7月に工事に着手し、平成28年7月に建物が竣工しました。

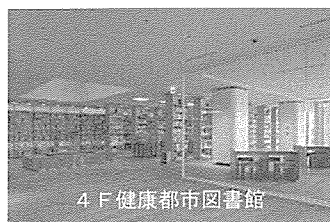
このホールや図書館、学習センターなどの複数の機能が融合した新しいタイプの公共施設が文化創造拠点「シリウス」です。

☆シリウス☆
「心に響く・心が躍る・心をつなぐ」

大和市文化創造拠点の愛称はシリウスです。シリウスは、おおいぬ座を代表する、地球から見える恒星の中で最も明るい1等星。夜空のどの星よりも明るく輝くこの星の名は、「文化創造拠点が未来にわたって光り輝き、市民に愛される施設となるように」という想いを込めて名付けられました。

シリウスは、地上6階地下1階建ての鉄筋コンクリート造りで、床面積はおよそ23000㎡あります。メインホールは1007席あり、本格的な音楽、演劇などに対応できる音響性に優れた設備を有しています。

1階は5階の図書館では、各フロアで多種多様なサービスを提供しています。中でも、4階は健康都市図書館と称して、健康（医療）に関する専門図書や健康度測定器や脳年齢測定器なども配置し、各種健康に関する測定が行え、その測定結果を踏ま



4 F 健康都市図書館

えた健康や食事などの相談も受けられるようになっていきます。

図書館には、閲覧席を795席備えており、1階に併設されているカフェで購入した飲み物を自由に持ち込むことが可能となっています。



5 F 図書館

3階は、幼児から児童向けの絵本や紙芝居などを揃えた「こども図書館」のほか、3歳から小学校2年生を対象とした親子のあそびの広場として、ボーンレスの遊具を揃えた「げんきっこ広場」があり、子供たちが元氣よく遊ぶ空間があります。



3 F 屋内子ども広場

6階は、生涯学習センター（公民館）のフロアとなっています。さらに、シリウスは複合施設のため、2階や3階にも生涯学習センターのエリアがあります。まず、6階には、定員145人の講習室、大会議室、中会議室、小会議室、和室、調理実習室、文化創造室のほか、飲食可能な自由な空間として、市民交流スペース「ぷらっと大和」があります。

全てガラス張りであることから、部屋は明るく、使い勝手の良いものとなっています。

3階には、大中小3つのスタジオがあり、中には、ドラムやキーボードをはじめとした優れた楽器や音響機器を配置しています。2階には、上質で快適な家具が揃ったくつろぎの空間として市民交流ラウンジ（有料）があり、友人との歓談やビジネスの打ち合わせなどの用途に利用することができます。



6 F 文化創造室

**民間のノウハウを
活かした運営に期待**

シリウスの管理運営には、指定管理者制度を活用しています。複合施設であるがゆえに、一つの企業だけでこの施設を管理することは困難です。そのため、この施設を管理している指定管理者は、各施設管理運営のノウハウを有する企業の集まりです（共同企業体）。新しいスタイルの公共施設であるため、まだ見えていない利点や課題などがあると思いますので、この融合した施設の活用について指定管理者に期待しているところです。

（写真提供 大和市）

平成29年度「公民館実態調査」

《主な調査項目》

平成29年度は、「公民館の実態調査」の年です。この調査は5年に1度、県内の公民館のご協力のもと、公民館の運営、事業等について調査することで、今後の運営や事業に生かしていただくことを目的としています。

調査項目が多岐にわたり、皆様へのご負担も大きいと思いますが、他の施設の状態を知ることができ、

また、公民館同士のつながりを作るツールとしても活用できると考えています。各施設の情報だけでなく、それらを基に集計したデータから、公民館の現状を知ることにも出来る調査をめざしています。

調査票は7月に市町所管課を通して各施設にお配りする予定です。よりよい調査になるよう各施設のご協力をお願いします。

- ① 施設概要
- ② 利用状況
- ③ 管理運営
- ④ 職員
- ⑤ 保育
- ⑥ 公民館運営審議会
- ⑦ 視聴覚・情報機器等
- ⑧ 図書
- ⑨ 公民館の水準維持及び内容
- ⑩ 指定管理者制度
- ⑪ 自由記述

編集後記

今回の「公民館かながわ」は、いかがだったでしょうか。平成28年度は「第38回全国公民館研究会 会神奈川大会・第57回関東甲信越 静公民館研究大会」が相模原市で開催されるなど、大きな節目の年だったのでないでしょうか。

すでに報告書もお手元に届いていると思いますが、再度ご覧いただき、大会テーマであった「今、なぜ公民館が必要とされているのか？」公民館の存在意義を問う「〜」についてお考えいただければと思います。発行に際し、1年間、ご協力いただいた市町の皆様、団体の皆様には心から感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。



平成24年度報告書

表紙

大和市文化創造拠点「シリウス」

今号の表紙は、平成28年11月3日にオープンした、大和市文化創造拠点「シリウス」です。施設の詳細については、7ページに詳しく紹介していますのでご覧ください。

右上写真…2階ラウンジ
左上写真…6階市民交流スペース

平成29年度 総会

- 日時 平成29年5月19日(金)
午後1時から
- 会場 大井町生涯学習センター
足柄上郡大井町金子1995
- 交通 JR御殿場線上大井駅 徒歩15分
JR御殿場線相模金子駅 徒歩15分
小田急線新松田駅からバス便有り

【総務・広報部会】

- 佐藤 忠 (川崎市)
- 藤田 圭 (愛川町)
- 小嶋 聡 (綾瀬市)
- 青木 聡 (茅ヶ崎市)
- 一寸木 貞夫 (箱根町)
- 山本 清和 (中井町)
- 太田 公仁 (県央教育事務所)
- 加藤 佳代 (県西教育事務所)